

大西卓哉宇宙飛行士搭乗の
米国クルードラゴン宇宙船運用 10 号機の打上げ成功について
〔内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話〕

大西卓哉宇宙飛行士が搭乗する、米国クルードラゴン宇宙船運用 10 号機が、日本時間の3月 15 日8時3分に打ち上げられ、翌 16 日 13 時4分頃、国際宇宙ステーション (ISS) とのドッキングを完了しました。大西宇宙飛行士達が、無事、ISS に到着されたことに安堵しています。

大西宇宙飛行士は、約半年間 ISS に滞在する中で、日本人では3人目となる ISS 船長を務めるとともに、日本実験棟「きぼう」の実験運用や ISS のシステム運用、今後の宇宙探査を見据えた技術実証、宇宙環境を生かしたライフサイエンス研究、ロボットプログラミング競技会など、様々なミッションに取り組まれる予定と聞いております。

大西飛行士を始めとする日本人宇宙飛行士の活躍は、我が国の大きな誇りです。今後、我が国として、日本実験棟「きぼう」の運用等の ISS での活動や、アルテミス計画の将来ミッション、次世代宇宙ステーションにおいて我が国が関与するモジュールの運用等を進めていくに当たり、大西飛行士の御活躍により、国民の皆様が宇宙を身近なものと感じ、さらに、夢と希望をもたらしてくださることを期待しております。約半年後、ミッションを終えて、他の搭乗員の皆様と共に、無事に帰還されることを願っております。

令和 7 年 3 月 16 日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
城 内 実